

生きもの調査ガイドブック

楽しいビオトープ

～ 西之谷ダムの子ものたち ～



目次



1. ビオトープを楽しもう	2
2. 色々なビオトープ	4
(1) 川・水路のビオトープ	4
(2) 河原・草地のビオトープ	6
(3) 池・湿地のビオトープ	9
(4) 樹林地のビオトープ	10
(5) 豊かな自然とビオトープを守る	11
3. ビオトープの豆知識	12
(1) ビオトープとは	12
(2) ビオトープ保全の必要性	12
(3) ビオトープの楽しみ	13
(4) ミニビオトープをつくろう	13
(5) ミニビオトープの参考事例	14



西之谷ダム案内図

- ・JR九州鹿児島中央駅から車で約15分
- ・県道24号沿いの入口（標識あり）から西之谷ダムまで車で約3分
- ・上流公園は西之谷ダムから約1.2km上流



1. ビオトープを楽しもう

私たちは豊かな自然環境から様々な恩恵を受けながら、たくさんの生きものと一緒に暮らしています。

そして豊かな自然環境には色々なタイプのビオトープ（生き物が住む場所）があります。

西之谷ダムのビオトープは、色々なビオトープを観察できる自然の博物館です。

上流公園には川が流れ、草地や池、小川など多様なビオトープがあるため、様々な生きものと触れ合いを楽しむことができます。

◆西之谷ダム周辺の自然環境

○場所：鹿児島市西別府町西之谷

○西之谷ダム（堤高：21.5m、堤長：135.8m）は通常は貯水はなく自然の河川環境がみられます。

○ダム堤の上流には湿地、河川水を引き込んだ貯水池、上流公園には河川ふれあいの階段、メダカ池、せせらぎ水路等が整備されています。

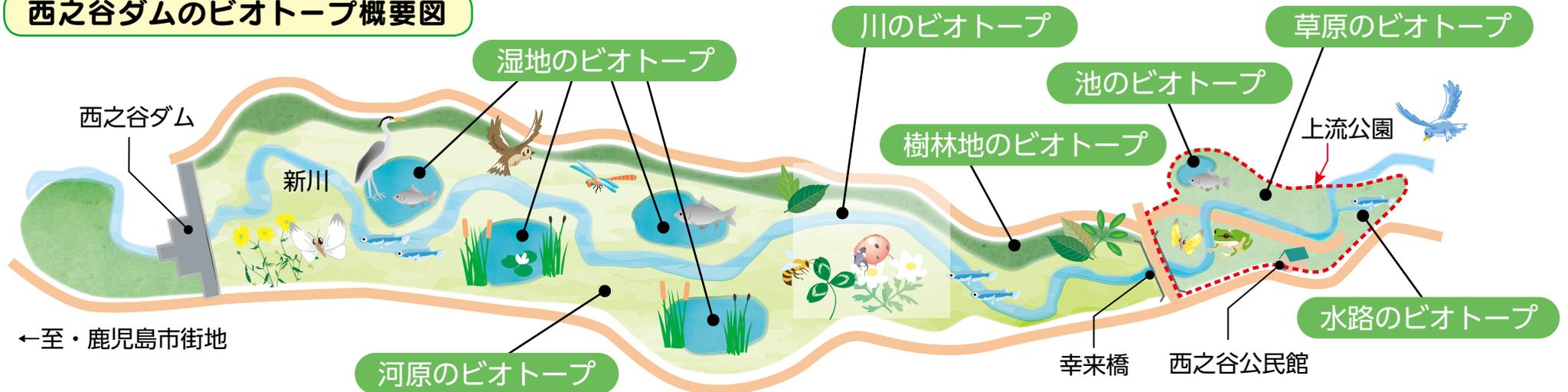


上流よりダムサイトを臨む



上流公園

西之谷ダムのビオトープ概要図



参考：「西之谷ダム」パンフレット（鹿児島県 鹿児島地域振興局）

2. 色々なビオトープ

(1) 川・水路のビオトープ

- ◇ 川には今では珍しいメダカやナマズなどがすみ、川底にはエビ、ヤゴ、貝類もみられます。
- ◇ 水辺や川底には各種の水生植物すいせいしょくが生育しています。
- ◇ 川岸にはヨシや竹類が目立ち、日陰の石にはコケ類、シダ類がみられます。



○川岸の植物

ヨシ、ススキ、ジュズダマ、オオオナモミ、マメズタ、ゼニゴケ、ウラジロ、コシダ、コモチシダなど



ヨシ



ススキ



ジュズダマ



オオオナモミ



マメツタ



ゼニゴケ



ウラジロ



コモチシダ

○水辺や川底の植物

ミゾソバ、オランダガラシ、セリ、アキカサスゲ、エビモなど



ミゾソバ



オランダガラシ



セリ



アキカサスゲ

○魚・エビ・貝・トンボの幼虫類

オオヨシノボリ、カワムツ、ギンブナ、タカハヤ、ナマズ、メダカ、ミナミテナガエビ、その他トンボの幼虫など



タカハヤ



ナマズ



オオヨシノボリ



メダカ



カワムツ



ギンブナ



カワナ



ミナミテナガエビ



コヤマトンボの幼虫

(2) 河原・草地のビオトープ

- ◇ 両岸の河原にはススキやチガヤ、セイタカアワダチソウが広く混生しています。
- ◇ 草地はチョウ類が飛び交い、色々な昆虫のすみかになっています。
- ◇ 河原には野鳥が訪れ、エサをとったり羽を休めたりする様子を見ることが出来ます。



ツユクサ



ネジバナ



ナンバンギセル、



エノコログサ



ニワゼキショウ



トウバナ



キツネノボタン



ツリフネソウ

○植物

チガヤ、ススキ、セイタカアワダチソウ、タヌキマメ、マツヨイグサ、イヌクグ、シロツメグサ、ナンバンギセル、ヨモギ、オオアレチノギク、オニタビラコ、ハハコグサ、ツユクサ、ネジバナ、イヌタデ、スイバ、スギナ、ドクダミ、シラン、ニワゼキショウ、ツリフネソウ、アキノエノコログサ、エノコログサ、ノアザミ、トウバナ、キキョウソウ、キツネノボタンなど

○チョウ類

キマダラセセリ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ウラナミシジミ、ウラギンシジミ、キタテハ、ヒメアカタテハ、タテハモドキ、ツマグロヒョウモンなど



チガヤ



タヌキマメ



シロツメグサ



ノアザミ



シラン



ハハコグサ



イヌタデ



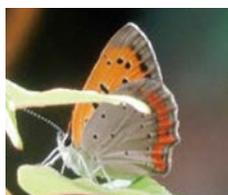
ヨモギ



アオスジアゲハ



モンシロチョウ



ベニシジミ



ウラギンシジミ



キタテハ



ヒメアカタテハ



タテハモドキ



ツマグロヒョウモン

○昆虫類・クモ類

コガネグモ、マメコガネ、ナナホシテントウ、ハンミョウ、ショウリョウバッタ、ハラビロカマキリ、ツチイナゴ、スズメバチ、オオモンツチバチ、コガネグモ、ナガコガネグモなど



コガネムシ



マメコガネ



ナナホシテントウ



ハンミョウ



ハラビロカマキリ



ツチイナゴ



コガネグモ



ナガコガネグモ

○野鳥類

アオサギ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ヒクイナなど



アオサギ



ハクセキレイ



セグロセキレイ



ヒクイナ

(3) 池・^{しっ}湿地の^ちビオトープ

- ◇ 池にはメダカやオタマジャクシが住み、色んな種のトンボが舞っています。
- ◇ 池や^{しっ}湿地には、各種の水生^{すいせい}植物^{しょくぶつ}が多くみられます。



○植物

ヒシ、コナギ、ミズオオバコ、コガマ、ホテイアオイ、カンガレイ、イヌドクサ、ヒメガマなど



ヒシ



コナギ



ミズオオバコ



ヒメガマ



カンガレイ



コガマ



イヌドクサ

○トンボ類

ハグロトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、コヤマトンボなど



ハグロトンボ



シオカラトンボ



ショウジョウトンボ



チョウトンボ

(4) 樹林地のビオトープ

- ◇ 堤防にはコマツナギ、ネムノキなどの落葉樹、ホテイチクやカンザンチクなどの竹筴類が繁茂しています。
- ◇ 林の縁にはつる性植物が絡み、花や実をつけます。
- ◇ 林の中からは小鳥のさえずりも聞こえます。



○樹木

ナンテン、フユイチゴ、アオモジ、アカメガシワ、アキグミ、イヌビワ、イワガネ、フジウツギ、キブシ、クサギ、クマイチゴ、コマツナギ、タラノキ、ネムノキ、ハゼノキなど



アカメガシワ



イヌビワ



キブシ



クサギ



ナンテン



ネムノキ



コマツナギ



タラノキ

○つる性植物

ヘクソカズラ、カナムグラ、クズ、ヤブマメ、オニドコロ、カラスウリなど



ヘクソカズラ



クズ



ヤブマメ



カラスウリ

(5) 豊かな自然とビオトープを守ろう

- ◇ 西之谷ダム周辺は鹿児島県レッドリスト、絶滅危惧Ⅱ類のミズオオバコや準絶滅危惧種のコガマ、タヌキマメ、ツリフネソウ、ヒクイナ、メダカなどのほか、南九州が南限の種など貴重な種も多く確認されています。
- ◇ 一方鹿児島県の外来種では、防除対策種のホテイアオイやセイタカアワダチソウなどが広く分布、スクミリンゴガイも確認されるなど希少種や在来種への影響が懸念されます。



ホテイアオイ



セイタカアワダチソウ



スクミリンゴガイと卵



- ◇ 当地域は都市近郊にある自然豊かな場所であり、郷土の生物多様性やビオトープの保全への関心、理解を深めるために自然観察や環境学習等の場として今後も十分な管理と活用が望まれます。

3. ビオトープ豆知識

(1) ビオトープとは

- ビオトープとは地域の生きもの（ビオ）が生活している場所（トープ）のことです。
- ビオトープは小さな生態系せいたいけいです。
- 生きものは動物、植物のほか、目に見えない微生物びせいぶつや細菌さいきんも含まれます。
- ビオトープは自然の森、川、池、草地、海などのほか、私たちの生活の場所である庭、学校、公園にもあります。



(2) ビオトープ保全の必要性

- ビオトープはその地域に特有のものです。
- ビオトープの保全・回復はその地域の「生物多様性」せいぶつ た ようせいを守ることにもつな갑니다。
- 多くの生きものは、エサ探しや休息、繁殖はんしよくなど一生を通じて色々なタイプのビオトープを必要とします。
- ビオトープは出来るだけ広い面積で、しかも丸い形の生息空間せいそくくうかんを緑地や樹林地でつなぐことが重要です。

(3) ビオトープの楽しみ

- 四季の変化を五感で感じることができます。
- 生きものとの出会いで発見や感動を受けることができます。
- 自然に接することにより心身の健康増進を図ることができます。



- 草花を生け花として、また山菜、薬草を食材として利用できます。
- 環境学習や生き物調査に活用できます。
- 生命の大切さを知ることができます。

(4) ミニビオトープをつくろう

- 私たちのすんでいる場所は、かつては野鳥が訪れたり、チョウやトンボの飛び交う野生生物のすみ場所だったはずです。
- そんな自然を是非、学校や家庭に再現してみましよう。
- 自然は人がつくることはできませんが、生きものにとって失われたものを再生するため、人が最小限お手伝いしていくことが大切です。
- ミニビオトープが自然の川や山林につながっていけば、まち全体が生きものにとって素晴らしい場所になっていきます。

(5) ミニビオトープ参考事例

① 水辺のビオトープづくり

- 水鉢やタフブネの底に川砂や大小の石などを入れてから水を注ぎます。
- 外来種でない鉢植えの水生植物(ウキクサ、オモダカ、スイレン、エビモなど)やメダカ、ヌマエビ等を入れます。
- 太陽が水面に反射するとトンボがやってきて産卵の場所になり、小鳥の水飲み場や水浴びの場所にもなります。



水鉢やタフブネを利用した水辺ビオトープ



水飲みや水浴びにやってきた小鳥

産卵中のイトトンボ

② 野原のビオトープづくり

- 色々な草花をコンテナやつり鉢に植えて、バッタやチョウを呼びましょう。(ツククサ、エノコログサ、ノアザミ、サンショウ、ハハコグサなど)
- 置き場所は、ベランダや壁、柱を有効に使いましょう。
- 庭がある場合は、野草園や菜園も野原のビオトープになります。
- 草刈りは最小限にし、農薬や殺虫剤は使わないようにしましょう。



コンテナに植えられた野草



バッタ等の住みかになる野草園



チョウやハチのための菜園



バッタやチョウを呼ぶ野原のビオトープ

③ 樹林地のビオトープづくり

- 実のなる木を植えて、小鳥を呼びましょう。エサはやりません。(ムラサキシキブ、マンリョウ、センリョウ、ヤブツバキなど)
- 緑の木が多いと小鳥のエサとなる虫も多く、セミの鳴き声も聞けます。
- 同じ種類の木だけでなく、常緑樹と落葉樹を混ぜて植えると新緑、紅葉など季節感が味わえます。



実や虫を食べに來たり、羽を休めに訪れた小鳥たち

セミの声も聞こえる

参考：(財)日本生態系協会／編著「学校ビオトープ 考え方づくり方使い方」、養父志乃夫／著「ビオトープづくり実践帳」

郷土の自然環境やビオトープを守り

生きものとの暮らしを楽しみながら

「し ぜんきょうせい自然共生のまち」を目指しましょう。



平成30年9月

発行 ■ 鹿児島市環境部環境保全課
編集 ■ ビオトープかごしま
(日本ビオトープ管理士会鹿児島支部)

お問い合わせ先

〒 892-8677 鹿児島市山下町 1 1-1

TEL 099-216-1298 FAX 099-216-1292

E-mail kankyohozen@city.kagoshima.lg.jp